



落ち着ける場所どうぞ



全国各地から参加できます



最新の知見を共有しましょう



スマホもOK (Wi-Fi環境推奨)



インターネットで学術集会!



ミーティングルームもあります



ケアのヒントを得られます



オンデマンドは何時でも



ゆっくり学べます

第27回 日本精神科看護専門学術集会 in Web

ライブ配信：2020.12.5 (土) ▶ 6 (日)

オンデマンド配信：2020.12.1 (火) ▶ 2021.2.4 (木)

第27回日本精神科看護専門学術集会は茨城県つくば市で開催予定でしたが、
コロナ禍のなか、集合での開催において参加者等の安全の確保が難しいことから、
Web開催 (ライブ配信+オンデマンド配信) にて実施いたします。

📍 学術講演

ハームリダクションとは何か — つながりと包摂の公衆衛生政策

講師 / 松本俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長 / 薬物依存症センター センター長

📍 パネルディスカッション

① 当事者に関心を寄せるハームリダクション～実践編～(仮)

コーディネーター / 榊 明彦 (医療法人社団翠会成増厚生病院)

② 訪問看護の本質に迫る～立場によって見えること～

コーディネーター / 東 美奈子 (訪問看護ステーション Relisa)

主催：一般社団法人日本精神科看護協会 TEL：03-5796-7033 www.jpna.jp
詳細は日本精神科看護学術集会専用ホームページをご覧ください <http://jpna-gakujutsu.jp/>

こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

第27回

日本精神科看護専門学術集会 in Web

ライブ配信 2020.12.5 (土) ▶ 12.6 (日)

※プログラムや時間等は一部変更することがあります

12/5
(土)

9:15

受付

10:10

開会式

● 学術講演

● ハームリダクションとは何か? — つながりと包摂の公衆衛生政策

午前

午後

● パネルディスカッション

● ミーティングルーム

12/6
(日)

9:15

受付

● パネルディスカッション

● ミーティングルーム

午前

● 企業セミナー (予定)

午後

● 茨城県支部企画

● ミーティングルーム (質疑応答)

オンデマンド配信 2020.12.1 (火) ▶ 2021.2.4 (木)

12/1 ▶ 2/4
(火) (木)

- 一般演題 A (看護研究発表、実践報告、業務改善報告) / 精神科認定看護師実践報告 / 看護研究助成論文
- 演題数は100題以上を予定しています
- 他のプログラムも随時視聴可能です (一部プログラムを除く)

学術講演

ハームリダクションとは何か? — つながりと包摂の公衆衛生政策



講師 / 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
松本俊彦 薬物依存症センター センター長

わが国ではハームリダクションは誤解されている。たとえば「寛容政策」などとして、「薬物汚染があまりに深刻となり、もはや取り締まり不可能となった国がやむなく採用した苦肉の策」と誤解されたり、治療目標を「断酒」ではなく「減酒」に置き換えた「優しいアルコール依存症治療」と誤解されたりしている。断言するが、ハームリダクションは決して薬物汚染が深刻な国の「苦肉の策」などではない。むしろそれは、厳罰政策の限界から出発した、効果的な公衆衛生政策と支援実践の理念である。そして何よりも、薬物使用者の人権を尊重し、厳罰政策によって支援から疎外された人間を孤立から救い出すための倫理的実践である。今回の講演では、ハームリダクションが必要とされた経緯と効果、そしてハームリダクションをめぐるわが国の現状と課題、さらには個別の支援実践について私見を述べたい。

平成5年佐賀医科大学医学部卒業後、横浜市立大学医学部附属病院にて臨床研修の後、国立横浜病院精神科、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科などを経て、平成22年より国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所に勤務。日本アルコール・アディクション医学会理事、日本精神科救急学会理事、日本青年期精神療法学会理事、日本司法精神医学会評議員。

パネルディスカッション

当事者に関心を寄せるハームリダクション～実践編～(仮)

コーディネーター / 榊明彦 (医療法人社団翠会成増厚生病院)

「わかっているけどやめられない」。アルコールやギャンブルなどで苦しむ人に、今やめることができないのならできる限りその害を少なくする、という考え方が「ハームリダクション」です。これまでアディクション問題に取り組んできた看護職には、当事者グループとの連携で発展してきたケアの実績があります。その実績に新たな視点、つまり当事者の「悪化を防ぎたい」声に関心を寄せるハームリダクションについて、考えたいと思います。

訪問看護の本質に迫る～立場によって見えること～

コーディネーター / 東美奈子 (訪問看護ステーション Relisa)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築をめざすなかで、精神科訪問看護は在宅医療の要として重要な役割を担っています。また、ここ数年の動向として精神科訪問看護に特化した独立型の訪問看護ステーションも増えてきました。そこで今回は、訪問看護を経験して現在、病棟勤務をしている看護師と、訪問看護をしている看護師と一緒に、精神科訪問看護の本質と看護連携について語り合ってみようと思います。

ミーティングルーム

学術集会は、学術の研鑽だけでなく、参加者同士の交流の場として機能していました。コロナ禍のなか、集合が難しい状況であっても、少しでも相互交流がはかれるよう、「新型コロナウイルス感染予防」をテーマにミーティングルームを開設します。また、一般演題 A の発表はパワーポイントでのオンデマンド発表としましたので、自由に質問ができるミーティングルームも開設する予定です。

プログラムの詳細やお申し込みは学術集会専用ホームページで www.jpna-gakujutsu.jp

- 参加費：会員…13,200円(税込)、非会員…24,200円(税込)

※会員とは、一般社団法人日本精神科看護協会の会員をさします

- 申込方法：学術集会専用ホームページのみでお申し込みいただけます

- 申込受付期間：2020年9月1日(火)～11月6日(金)

※ID/パスワード発行の都合により当日参加はできません

- お問い合わせ先：東武トップツアーズ(株)ソリューション営業部 担当：川野辺・佐藤 (tel:03-5348-3780)

